



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

ワインを核とした地域ブランドの創造と醸成、地域活性化、関係人口の創出など(長野県千曲川流域市町村、北海道仁木町)

鹿取みゆき (かとりみゆき)

(一社)日本ワインブドウ栽培協会、信州大学、その他 代表理事、
特任教授、フリーランス記者



○ 登録者情報

所在地

長野県東御市

略歴

1884年：東京大学教育学部卒業
1884年：(株)ソニー入社 海外営業、商品企画、マーケティングに携わる
1993年：フリーランスで記事を書き出す
2004年：『日本ワイン列島』(料理王国社)の執筆編集を担当
2005年：生産者とともに「日本ワイン造り手の会」を設立。監査役を務める
2008年：洞爺湖サミットのワイン選定者の選出及び選定と資料作成担当
2010年：総説論文「日本におけるワインテイastingについて」が日本味とおい学会誌 Article of the Year 2009を受賞、東京大学空間情報科学研究センター協力研究員
2011年：『日本ワインガイド 純国産ワイナリーと造り手たち』(虹有社)を出版
2012年：「化学と生物」Vol.50. No.6.2012(農芸化学会誌)『新たな時代を迎える日本ワイン』に寄稿
2013年：NHKワールド『Wine growers in Far East』(英語：監修およびナレーター、日本のワイン生産者を海外に紹介する番組)、京王プラザホテル札幌 プラザハリテージコーディネータ(以来毎年)
2015年：国税庁臨時審議員任命(地理的表示部会)、千曲川ワインアカデミー(日本ワイン農業研究所株式会社「アルカンヴィーニュ」)運営統括：毎年3日間ほど授業を持つ、国立科学博物館10月から開催の「ワイン展」の日本のワイナリー、および世界のワイナリーのコーナー監修、週刊朝日にて「日本ワインの食卓」連載。信州大学経法学部特任教授
2016年：国税庁「日本産酒類の情報発信の強化に関する懇談会」参加、東京大学先端技術研究センター客員研究員就任(2019年まで)、長野県農業情報インフラ研究会研究員
2017年：総務省「地域力創造アドバイザー」認定、札幌国税局主催(日本ワインシンポジウム コーディネーター)、関東経済局平成29年度、30年度地域中核企業創出・支援事業(信州ワインバレーの地域ブランド確立に向けたネットワーク構築事業)のプロジェクトマネージャーを務める。
2018年：スペインのマスター・オブ・ワインシンポジウムで、370人のワイン専門家にNAGANO WINEについて発表、函館ワインプロジェクトで講演など、広島国税局主催 日本ワインシンポジウム コーディネーター、長野県東御市地域力創造アドバイザー(東御ワイン&ピアミュージアムの立ち上げ支援(展示物の企画及び作成、デザイナーの紹介、講演の企画立案実践)
2019年：国税庁審議会委員(酒類分科会)就任、一般社団法人日本ワインブドウ栽培協会設立。代表理事就任
朝日新聞土曜版beのフロントランナーでとりあげられる、長野県ジビエ研究会会長、信州大学特任教授、北海道道南ワインアカデミーで講演、平成31年度中小企業知的財産活動支援事業費補助金(地域中小企業知的財産支援力強化事業)「ブランドデザインワークス(BDW)」を通じた地域ブランド構築支援事業。プロジェクトマネージャーを務める。
2020年：日本ワインブドウ栽培協会にて中央果実協会より調査事業受託
2021年：岩手県花巻市講演、北海道仁木町の地域力創造アドバイザー就任、熊本国税局講演、農水省の依頼で「日本ワイン祭り」にて講演「ワイン用ブドウの魅力と展望」、中央果実協会オンラインセミナー実施
2022年：大阪国税局シンポジウムコーディネーター、北海道ワインシンポジウムにて講演(北海道大学主催)、ハヶ岳山麓地域共生会議にて講演、日本ブドウ・ワイン学会にて講演、金沢国税局講演(果実酒講習会)、石油学会にて講演
2023年：農林水産省醸造用ブドウの勉強会にて講演

著書・論文等

『ワインの香り』(虹有社)がある。監訳『土とワイン』(エクスナレッジ)。『日本ワイン99本』(プレジデント社)『厳選日本ワイン&ワイナリーガイド』(世界文化社)。『日本ワイン 北海道』『日本ワインガイド 純国産ワイナリーと造り手』『においと味の不思議』(いずれも虹有社)

○ ワインを核とした地域ブランドの創造と醸成、地域活性化、関係人口の創出など(長野県千曲川流域市町村、北海道仁木町)

取組の内容

・「ブランドデザインワークス」の活動では、千曲川流域の市町村を対象に、ワインを核として、クラスターや市町村の枠組みを超えたネットワークづくりを、プロジェクトチームを立ち上げて実践。チームにはプランナー、編集者、地域在住のデザイナー、市町村の農政担当者呼び込んだ。デザイナー、シェフ、プランナーなどと呼び、講演会を企画、自らは講師として講演を実施した。また地元のワインを用いたワークショップを行い、
・東御市では温泉施設の2階にあったワイン&ピアミュージアムの展示方法、内容、デザインなどを提案。ワインコンシェルジュ(地域おこし協力隊)の養成に関わり、その後も当ミュージアムでの講演の企画・実践。
・現在は、北海道の仁木町でのワイン文化の醸成の仕組み作り、新規就農社向けの講演、地域住民と生産者のコミュニティづくり、地域おこし協力隊の方々との連携を通じた活動も続けている。



東御市の活動: 地元のクワミの生産者とのワークショップとセミナーの様子と北海道でのセミナーの様

実績

- ・「ブランドデザインワークス」を実践し、千曲川流域の市町村を対象に、ワインを核としたクラスターを超えたネットワークづくりを貢献、ボトムアップによる千曲川流域の地域ブランドの隔離を行いました。ワークショップを通じて地域を表すキーワードを抽出、地域ブランドの創造と可視化にデザイナーらと取り組んでいます。さらに地域のワイン文化の担い手が見え、しかも全体が俯瞰できるマップを作成。その後もそのマップを特区協議会が予算を取って、改定を進めています。
- ・東御市では温泉施設の2階にあったワイン&ビアミュージアムの立ち上げ、ワインコンシェルジェの養成に関わり、その後も当ミュージアムでの講演の企画・実践。地域力創造アドバイザーの任期終了後も、定期的に現地呼ばれて講演会を企画、実践中です。
- ・現在は、北海道の仁木町でのワイン文化の醸成の仕組み作り、新規就農社向けの講演、地域住民と生産者のコミュニティづくり、地域おこし協力隊の方々との連携を通じた活動をおこなってきましたが、次第に参加者が増えてきています。

工夫した点や苦労した点

異なるクラスターでのコミュニティを形成のために、交流の機会を作ろうと思っても交流自体を目標とした集客は難しいものがあります。また、異なるクラスターでのコミュニティづくりの際、ワインはとても有効ですが、地方自治体では、そのための予算の確保が難しいのが現状です。前者については、多くの人が興味を持つような講演会と企画、その後でワークショップを実践するようにしました。後者は、セミナーの後の交流会を地域おこし協力隊の人と企画しています。

ひとことPR

日本のワイン産業におけるさまざまなデータの蓄積を持ち、いくつかの代表的な地域におけるワインを核とした地域活性化に関わってきました。そのため、こうした地域の実態に触れております。ワイン用ブドウの栽培実態についても自ら調査を担当し、それを把握しています。日本全国のワイン用ブドウの担い手、及びワイン生産者のみならず、食、デザイン関係にもネットワークを有しております。さらに、信州大学での活動を通して、AI、地理学、信号処理などの研究者と共同研究を進めています。日本と似た状況にある海外産地の事例にも詳しいです。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
地場産品発掘・販路開拓	中心市街地活性化
○ 6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
○ 地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	○ DMOとの連携
地区防災計画	インバウンド対応
BCP	民泊・農泊
避難所運営	○ 地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
○ 滞在・活動の場づくり	起業・事業承継等支援
○ 地域おこし協力隊の推進	空地・空家対策
○ 地域と関係人口の協働	地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	○ 人材研修
働き方改革	ふるさと教育
子どもの貧困対策	地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	○ 地域ブランディング
官民連携(PPP・PFI)	○ メディア活用策
自治体間連携	○ 効果の把握・評価
住民参加	その他
その他	

関連ホームページ

総務省ホームページ	https://www.soumu.go.jp/index.html
地域人材ネット	https://www.soumu.go.jp/ganbaru/iinzai/
(一社)日本ワインブドウ栽培協会	https://www.ivine.or.jp/mission

連絡先

メールアドレス	katori〔アットマーク〕jvine.or.jp		
---------	---------------------------	--	--

※メールを送る際には〔アットマーク〕を『@』に変えてください。